



平成19年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）

平成19年1月29日

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社
(URL <http://www.zeria.co.jp/>)

(コード番号：4559 東証第1部)

問合せ先 代表者役職・氏名 代表取締役社長
責任者役職・氏名 取締役広報部長

伊部 幸顕
森山 茂

(TEL:(03)-3661-1039)

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 法人税等の計上基準について年間予測税率を使用している他、影響額の僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。
最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年3月期第3四半期財務・業績の概況（平成18年4月1日～平成18年12月31日）

(1) 経営成績（連結）の進捗状況

(百万円未満切捨表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第3四半期	38,358	10.4	1,133	22.7	1,115	19.8	759	26.4
18年3月期第3四半期	42,833	0.5	1,467	25.8	1,390	14.9	1,031	30.6
(参考)18年3月期	55,545	1.2	1,944	19.7	1,879	6.0	1,248	9.8

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
19年3月期第3四半期	17.95	-
18年3月期第3四半期	24.12	-
(参考)18年3月期	29.23	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期(前期)増減率であります。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の我国経済は、企業収益の改善により景気の回復がみられるものの、個人消費に関しては依然として横ばい状態が続いており、また医薬品業界におきましては医療費抑制策が進むなど、厳しい市場環境下で推移しております。

このような情勢の中で、医療用医薬品部門におきましては、最重点領域である消化器官用薬に営業力を一層注力させた結果、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック」は、あらたに投入した口腔内崩壊錠「プロマックD錠」の市場浸透が進み売上は伸長いたしました。しかしながら、薬価引き下げによる販売価格の低下と市場競争の激化の影響を受け、H₂受容体拮抗剤「アシノンカプセル75・150」、胃炎・胃潰瘍治療剤「マーズレン-S顆粒・ES錠」の売上は減少いたしました。また、循環器分野の製品ラインアップ強化の一環として、下肢静脈瘤硬化剤「ポリドカスクレロール0.5%・1%・3%注2ml」を12月に発売いたしました。

一方、コンシューマーヘルスケア部門におきましては、さらなる高齢化社会が進展する中、セルフプリベンション(予防)を指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。なかでも主力製品群であり、近年市場を大きく拡大しております「コンドロイチン群」は引き続き順調に伸張し、トップブランドとしての地位を堅持いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン群」、滋養強壮剤「ヘパリーゼ群」も市場を拡大いたしました。一方、スキンケア関連製品のブランド強化をはかるべく、にきび治療薬から生まれたコスメブランドとして「アポステイー群」に多数の新製品を投入しラインアップを強化いたしました。しかしながら、一部健康食品の取引見直しの影響により、部門全体としては減収を余儀なくされました。

以上のような活動の結果、当第3四半期の売上高は383億58百万円、利益につきましては経常利益11億15百万円、四半期純利益7億59百万円となりました。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

（百万円未満切捨表示）

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	60,056	28,159	46.9	669.06
18年3月期第3四半期	56,645	29,417	51.9	688.62
(参考)18年3月期	56,539	29,353	51.9	691.22

【連結キャッシュ・フローの状況】

（百万円未満切捨表示）

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第3四半期	1,542	3,865	5,406	2,014
18年3月期第3四半期	400	762	20	1,643
(参考)18年3月期	1,265	2,031	4	2,015

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は前連結会計年度末と比較して、35億17百万円増加いたしました。一方、純資産は11億93百万円の減少となりました。自己資本比率は前連結会計年度末対比5.0%低下し、46.9%となっております。

資産の部の増減の主なものは、流動資産におきましては、たな卸資産が10億97百万円増加いたしました。固定資産におきましては、保有上場有価証券の時価評価額の減少に伴い、投資有価証券が9億78百万円減少する一方で、有形固定資産が20億15百万円増加いたしました。

負債の部におきましては、長・短期借入金が合計で64億69百万円増加しております。

また、純資産の部におきましては、その他有価証券評価差額金が8億88百万円減少し、純資産減少の主要因となっております。

(キャッシュ・フロー計算書)

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動によるキャッシュ・フローは15億42百万円の支出となりました。これは、税金等調整前四半期純利益が14億32百万円、売上債権の増加額1億48百万円、たな卸資産の増加額10億97百万円、賞与引当金及び退職給付引当金の減少額8億97百万円、法人税等の支払額5億19百万円等によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動によるキャッシュ・フローは38億65百万円の支出となりました。これは、有形固定資産の取得による支出34億40百万円等によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動によるキャッシュ・フローは54億6百万円の収入となりました。これは、短期借入金の純増額42億円、長期借入れによる収入31億円、長期借入金の返済による支出8億30百万円、配当金の支払額6億63百万円等によるものであります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	52,000	2,900	1,800

（参考）1株当たり予想当期純利益（通期）42円77銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想につきましては、平成18年11月21日発表の数値を変更しております。内容につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。なお、上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの数値と異なる場合があります。

[添付資料]

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円, 端数切捨表示)

期 別 科 目	前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%		%
(資 産 の 部)		%		%		%
I 流 動 資 産						
1. 現 金 及 び 預 金	1,774		2,145		2,147	
2. 受 取 手 形 及 び 売 掛 金	17,707		15,384		15,225	
3. た な 卸 資 産	3,770		4,918		3,821	
4. 繰 延 税 金 資 産	978		837		847	
5. そ の 他	1,847		3,129		2,022	
貸 倒 引 当 金	△44		△39		△52	
流 動 資 産 合 計	26,034	46.0	26,376	43.9	24,011	42.5
II 固 定 資 産						
1. 有 形 固 定 資 産						
建 物 及 び 構 築 物	4,822		6,625		4,743	
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	758		1,549		915	
土 地	9,346		9,811		9,346	
建 設 仮 勘 定	4		1,096		2,059	
そ の 他	374		344		347	
有 形 固 定 資 産 合 計	15,307	27.0	19,428	32.3	17,412	30.8
2. 無 形 固 定 資 産	1,163	2.0	1,304	2.2	1,149	2.0
3. 投 資 そ の 他 の 資 産						
投 資 有 価 証 券	8,167		7,170		8,148	
長 期 前 払 費 用	4,352		3,690		4,187	
繰 延 税 金 資 産	22		417		19	
そ の 他	1,744		1,774		1,747	
貸 倒 引 当 金	△147		△104		△136	
投 資 そ の 他 の 資 産 合 計	14,140	25.0	12,948	21.6	13,965	24.7
固 定 資 産 合 計	30,611	54.0	33,680	56.1	32,527	57.5
資 産 合 計	56,645	100.0	60,056	100.0	56,539	100.0

(単位：百万円, 端数切捨表示)

期 別 科 目	前第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		当第3四半期末 (平成18年12月31日現在)		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比	金 額	構 成 比
		%		%		%
(負 債 の 部)						
I 流 動 負 債						
1. 支 払 手 形 及 び 買 掛 金	7,378		6,447		6,490	
2. 短 期 借 入 金	8,496		13,137		8,253	
3. 賞 与 引 当 金	712		402		867	
4. 返 品 調 整 引 当 金	237		239		224	
5. 売 上 割 戻 引 当 金	418		368		336	
6. そ の 他	3,115		2,770		3,688	
流 動 負 債 合 計	20,359	36.0	23,365	38.9	19,861	35.1
II 固 定 負 債						
1. 社 債	1,000		1,000		1,000	
2. 長 期 借 入 金	4,078		6,174		4,588	
3. 退 職 給 付 引 当 金	1,540		1,046		1,478	
4. 役 員 退 職 慰 労 引 当 金	181		193		188	
5. そ の 他	68		117		68	
固 定 負 債 合 計	6,869	12.1	8,532	14.2	7,324	13.0
負 債 合 計	27,228	48.1	31,897	53.1	27,185	48.1
(少 数 株 主 持 分)	—	—	—	—	—	—
(資 本 の 部)						
I 資 本 金	6,593	11.6	—	—	6,593	11.7
II 資 本 剰 余 金	5,414	9.6	—	—	5,414	9.6
III 利 益 剰 余 金	21,065	37.2	—	—	21,283	37.6
IV その他有価証券評価差額金	2,232	3.9	—	—	2,226	3.9
V 自 己 株 式	△5,888	△10.4	—	—	△6,164	△10.9
資 本 合 計	29,417	51.9	—	—	29,353	51.9
負債、少数株主持分及び資本合計	56,645	100.0	—	—	56,539	100.0
(純 資 産 の 部)						
I 株 主 資 本						
1. 資 本 金	—	—	6,593	11.0	—	—
2. 資 本 剰 余 金	—	—	5,414	9.0	—	—
3. 利 益 剰 余 金	—	—	21,364	35.6	—	—
4. 自 己 株 式	—	—	△6,562	△10.9	—	—
株 主 資 本 合 計	—	—	26,810	44.7	—	—
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等						
1. その他有価証券評価差額金	—	—	1,338	2.2	—	—
2. 繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	—	—	11	0.0	—	—
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	—	—	1,349	2.2	—	—
純 資 産 合 計	—	—	28,159	46.9	—	—
負債及び純資産合計	—	—	60,056	100.0	—	—

2. (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円, 端数切捨表示)

科 目	期 別	前第3四半期 (自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)		(参考) 平成18年3月期	
		金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
I 売 上 高		42,833	100.0	38,358	100.0	55,545	100.0
II 売 上 原 価		20,484	47.8	18,353	47.8	26,781	48.2
売 上 総 利 益		22,348	52.2	20,005	52.2	28,763	51.8
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		20,881	48.8	18,871	49.2	26,819	48.3
営 業 利 益		1,467	3.4	1,133	3.0	1,944	3.5
IV 営 業 外 収 益		179	0.4	194	0.5	229	0.4
1. 受 取 利 息 及 び 配 当 金		103		112		110	
2. 為 替 差 益		-		30		2	
3. 出 資 運 用 益		38		21		50	
4. そ の 他		37		30		65	
V 営 業 外 費 用		255	0.6	212	0.6	294	0.5
1. 支 払 利 息		97		135		130	
2. コミットメント契約費用		94		48		120	
3. そ の 他		63		28		43	
経 常 利 益		1,390	3.2	1,115	2.9	1,879	3.4
VI 特 別 利 益		494	1.2	369	1.0	494	0.9
1. 固 定 資 産 売 却 益		10		337		10	
2. 退 職 給 付 信 託 設 定 益		483		-		483	
3. 貸 倒 引 当 金 戻 入 額		-		32		-	
VII 特 別 損 失		137	0.3	53	0.2	141	0.3
1. 固 定 資 産 除 却 損		15		53		15	
2. 固 定 資 産 評 価 損		102		-		102	
3. 退 職 加 算 金		19		-		23	
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,747	4.1	1,432	3.7	2,231	4.0
法 人 税 等		716	1.7	673	1.7	983	1.8
四 半 期 (当 期) 純 利 益		1,031	2.4	759	2.0	1,248	2.2

3. (要約) 四半期連結株主資本等変動計算書

当第3四半期 (自 平成18年4月1日 至 平成18年12月31日)

(単位：百万円, 端数切捨表示)

	株主資本					評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金	繰延 ヘッジ 損益	評価・ 換算差額 等合計	
平成18年 3月31日残高	6,593	5,414	21,283	△ 6,164	27,126	2,226	—	2,226	29,353
当第3四半期中の変動額									
剰余金の配当			△ 678		△ 678				△ 678
四半期純利益			759		759				759
自己株式の取得				△ 397	△ 397				△ 397
株主資本以外の項目の 当第3四半期中の変動額(純額)						△ 888	11	△ 877	△ 877
当第3四半期中の変動額合計	—	—	80	△ 397	△ 316	△ 888	11	△ 877	△ 1,193
平成18年12月31日残高	6,593	5,414	21,364	△ 6,562	26,810	1,338	11	1,349	28,159

4. (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円, 端数切捨表示)

期 別 科 目	前第3四半期	当第3四半期	(参考)
	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)	平成18年3月期
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1. 税金等調整前四半期(当期)純利益	1,747	1,432	2,231
2. 減価償却費	1,074	1,136	1,448
3. 賞与引当金の減少額	△ 273	△ 465	△ 117
4. 退職給付引当金の減少額	△ 52	△ 432	△ 115
5. 固定資産売却益	△ 10	△ 337	△ 10
6. 売上債権の増減額(増加は△)	△ 1,559	△ 148	929
7. たな卸資産の増減額(増加は△)	165	△ 1,097	114
8. 仕入債務の増減額(減少は△)	176	△ 43	△ 711
9. その他	△ 516	△ 1,042	△ 1,275
小計	751	△ 997	2,493
10. 法人税等の支払額	△ 1,157	△ 519	△ 1,205
11. その他	5	△ 25	△ 22
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 400	△ 1,542	1,265
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1. 有形固定資産の取得による支出	△ 363	△ 3,440	△ 1,665
2. 無形固定資産の取得による支出	△ 375	△ 344	△ 375
3. 投資有価証券の取得による支出	△ 95	△ 465	△ 106
4. 投資有価証券の売却等による収入	121	388	161
5. その他	△ 50	△ 2	△ 45
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 762	△ 3,865	△ 2,031
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1. 短期借入金の純増減額(減少は△)	△ 2,190	4,200	△ 3,470
2. 社債発行による収入	1,000	—	1,000
3. 長期借入れによる収入	2,000	3,100	3,669
4. 長期借入金の返済による支出	△ 382	△ 830	△ 504
5. 自己株式の処分による収入	544	—	544
6. 自己株式の取得による支出	△ 287	△ 398	△ 564
7. 配当金の支払額	△ 663	△ 663	△ 679
財務活動によるキャッシュ・フロー	20	5,406	△ 4
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 5	0	△ 5
V 現金及び現金同等物の減少額	△ 1,147	△ 1	△ 775
VI 現金及び現金同等物の期首残高	2,790	2,015	2,790
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	1,643	2,014	2,015

5. 四半期連結事業部門別売上高

(単位：百万円, 端数切捨表示)

事業部門の名称		前第3四半期	当第3四半期	対前年同期比	(参考) 平成18年3月期
		(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成18年4月1日 至平成18年12月31日)		
医薬品事業	医療用医薬品部門	25,155	24,419	△2.9%	33,203
	コンシューマーヘルスケア部門	17,516	13,827	△21.1%	22,137
	小計	42,672	38,246	△10.4%	55,340
その他の事業		161	112	△30.4%	204
合計		42,833	38,358	△10.4%	55,545

6. 新薬パイプラインの状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成19年1月29日現在)

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 及び 特長	備考
申請中	Z-205/ リン酸ナトリウム	自社	大腸内視鏡前 腸管洗浄剤	腸管洗浄剤	導入
	ZL-101/ ニザチジン	自社	胃・十二指腸潰瘍 逆流性食道炎・胃炎	錠剤	導入 アシノン剤型追加
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	自社	潰瘍性大腸炎	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵工業)	クローン病	pH依存型放出制御製剤	導入
	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害	亜鉛補充	導入 プロマック効能追加
フェーズⅡ	Z-338/ Acotiamide	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅠ 準備中	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル

2) その他の分野

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズⅢ 追加試験	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社オリジナル アンサー効能追加
フェーズⅠ準備中	Z-207	自社	アレルギー性鼻炎	粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤	導入

II. 海外開発状況

開発段階	開発番号／一般名	開発	適応症	作用機序 及び 特長	備考
フェーズⅢ (韓国)	Z-103/ ポラプレジンク	導出 (SK Chemical)	胃炎・胃潰瘍	胃粘膜保護作用	導入
フェーズⅡ (欧州)	Z-338/ Acotiamide	自社	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	自社オリジナル
フェーズⅡ (北米)	Z-338/ Acotiamide	共同開発 (アステラス製薬)	機能的胃腸症	上部消化管運動改善作用	導出 自社オリジナル
フェーズⅠb/Ⅱa (欧州)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル
フェーズⅠ準備中 (米国)	Z-501	自社	過敏性腸症候群	ニューロキニンNK ₂ 受容体拮抗作用	自社オリジナル